

令和7年10月20日

第9回漱石フォーラム「文学のまち上南～漱石・格堂・新子～」を 開催します

夏目漱石が学生の頃岡山でひと夏を過ごしたというエピソードを基に、上南地区では漱石や地元出身の川柳作家・時実新子を顕彰するため、文学でまちおこしに取り組んでいます。今年は、漱石の親友・正岡子規と俳句を中心に、上南ゆかりの文学者について知る機会とします。

1 日 時

令和7年11月1日(土)10時～15時

2 場 所

漱石ロード 日乃出醤油小泉醸造元(小泉醤油店)旧醤油蔵(東区金田)

3 内 容

現在地域で進めている「文学のまち上南」を盛り上げるために、当日は内容を「語り・奏の部」「展示の部」「食の部」に分けて実施します。

★「語り・奏の部」

①基調講演「俳句の楽しさ～漱石・子規・格堂」

講師：岡山県立大学名誉教授・山陽学園大学非常勤講師・岡山県俳人協会会長 柴田奈美氏

②濱家輝雄さんとトークしよう テーマ「文学のまち上南をめざして」

ファシリテーター：倉敷芸術科学大学客員教授 濱家輝雄氏

③上南中学校音楽部秋コンサート

④朗読「時実新子エッセイ集 白い花散った」ほか

★「展示の部」

上南ゆかりの文学者紹介と写真 ほか

★「食の部」文学者が好んだ食などを紹介・飲食コーナー

4 その他

詳細は別紙にてご確認ください

【問い合わせ先】

岡山市立上南公民館（漱石フォーラム実行委員会事務局）岡崎

直通086-948-3352



文学創造都市 おかやま

第9回漱石フォーラム

吾輩は…

「文学のまち上南～漱石・格堂・新子～」

若き日の文豪 漱石の岡山滞在は「再会・青春・友情」の物語でした。

今年も、若き日の夏目漱石の親友正岡子規とその高弟赤木格堂・現代川柳 時実新子など、上南地域にゆかりのある作家たちに思いを馳せて文学のまち上南をもりあげます。

2025年 **11月1日(土) 10時～15時**

会場 漱石ロード 日乃出醤油小泉醸造元(小泉醤油店)旧醤油蔵
(岡山市東区金田 1901)

※駐車場はありますが、できるだけ乗り合わせてお越しください。(裏面参照)

語り・奏の部

10:00～10:05 開会あいさつ

10:05～11:30

第9回漱石フォーラム基調講演

定員
60人

「俳句の楽しさ～漱石・子規・格堂」

岡山県立大学名誉教授・山陽学園大学非常勤講師

岡山県俳人協会会長 **柴田 奈美 先生**

※講演は、必ず申し込みをお願いします。

11:30～12:30 濱家輝雄さんとトークしよう

テーマ「文学のまち上南をめざして」

リリーさん・地域の方・大学生など

13:00～13:40 上南中学音楽部秋コンサート

14:00～14:40 東公民館朗読クラブ

時実新子エッセイ集「白い花散った」ほか

14:50～15:00 閉会式

展示の部 高校生と公民館クラブ

川柳作品 県立瀬戸南高校川柳委員会

上南公民館写真クラブ作品展示

上南ゆかりの文学者紹介と写真

食の部 10:00～15:00

「上南文学食堂」

文学界の文豪ゆかりの食べ物や九蟠出身川柳作家時実新子懐かしアミ大根

(※いずれも数に限りがございます。)

漱石たまごかけごはん・漱石ゆかり弁当

漱石ロード醤油アイス・吾輩のひげパン

漱石ロード「シャツ・夏目(ニャつめ)サンド

吾輩のたまごかけごはんしょうゆ ほか



正岡子規 (1867～1902)伊予国温泉郡(現在の愛媛県松山市)に生まれる。親友夏目漱石とともに明治時代を代表する文学者。俳句・短歌・評論と多方面にわたり日本の近代文学に多大な影響を及ぼした。

赤木格堂 (1879～1948)岡山県児島郡小串村(現在の岡山市南区小串)に生まれる。正岡子規に俳句を師事し後継者とされたが、衆議院議員当選やジャーナリストとして活躍。「山陽新報」主筆や小串村長も務めた。

柴田奈美先生の講演参加希望の方は、事前に下記まで申し込みをお願いします。(10月31日(金)17時まで)

申込み・問合せ 岡山市立上南公民館(漱石フォーラム実行委員会事務局)

〒704-8166 岡山市東区君津636 電話・FAX (086) 948-3352

開館時間: 9時30分～21時(日曜日17時まで) 休館日: 毎週水曜日、祝日

主催 上南公民館・漱石フォーラム実行委員会

協賛 岡山城東ライオンズクラブ

後援 岡山商工会議所西大寺支所

漱石フォーラム会場周辺地図



漱石フォーラム会場のご案内

会場：日の出醤油 小泉醸造所 旧醤油蔵（岡山市東区金田 1901）

会場近隣に駐車場をご用意しております。お近くに到着されましたら、係員がご案内いたします。

夏目漱石（金之助）

明治 25（1892）年、大学在学中の夏休み期間に亡きの元嫁の小勝の再婚祝いの為に、金田地区を訪問しています。（漱石書簡集記述）金田では、吉井川で蛤拾いをする夏休みを楽しんだ逸話が残っています。

時実新子

岡山県上道郡九幡村（現在の岡山市東区九幡）出身、昭和 62 年に出版した句集「有夫恋」が女性の心を表現した作品として話題を呼びベストセラーに。川柳界の与謝野晶子と称され川柳の世界に新しい風を吹き込みました。